

CDリリース記念



野々下由香里

ソプラノリサイタル

愛する歌

橋本國彦 (詩: 深尾須磨子)

※初稿手稿譜による「舞」

木下牧子 (詩: やなせたかし)

「愛する歌」より

大中寅二 (詩: 島崎藤村)

「椰子の実」

高田三郎 (詩: 高野喜久雄)

「くちなし」

ほか



ピアノ

小倉貴久子

2022年5月27日 [金]

18:30 開演 (18:00 開場)

 M U S I C A S A

東京都渋谷区西原 3-33-1 小田急線「代々木上原駅」5分

全席自由 5000円

ご予約・お問合せ (マネジメント): オフィスアルシュ 03-3565-6771

チケット取扱い: イープラス <http://eplus.jp>

後援: 東京藝術大学音楽学部同声会 / ALM RECORDS

「日本の文化遺産を未来へとつなぎたい」

バロック音楽から現代音楽まで幅広く活躍する野々下由香里が日本歌曲を収録



愛する歌 野々下由香里 (sop) 小倉貴久子 (pf)

録音・制作・販売: ALM RECORDS / コジマ録音

発売: 2022年6月7日 (5月27日先行販売)

ALCD-7280 2,800円 (税抜価格)

野々下由香里 Yukari Nonoshita ソプラノ

大分県出身。東京藝術大学音楽科を首席で卒業、同大学院修了。関西フランス音楽コンクール、第4回日仏音楽コンクールともに第1位入賞。パリ・エコール・ノルマル音楽院留学中の'89年「フィガロの結婚」ケルビーノ役でレニヌ歌劇場にデビュー。ナント、リオ・デ・ジャネイロ等国際音楽コンクールに入賞。帰国後は、BCJ (パッサ・コレギウム・ジャパン) のソリストとして国内外の公演に参加。北とび国際音楽祭ではバロックオペラで古楽オーケストラとともに聴衆を魅了している。ジョージ・ベンジャミン「冬の心」を作曲家自身の指揮で東フィルと日本初演、権代敦彦らの作品を世界初演。録音は、25点を超えるBCJとのCDをはじめ「フォーレ《小ミサ》(ジャン・フルネ指揮)」「月の光〜エラールピアノとフランスのうた〜 (pf 小倉貴久子)」、レコード芸術誌特選盤などがある。フランス音楽コンクール審査員。東京藝術大学古楽科教授。お茶の水女子大学非常勤講師。

小倉貴久子 Kikuko Ogura ピアノ

東京藝術大学を経て同大学院修了。アムステルダム音楽院を首席卒業。ブルージュ国際古楽コンクール・アンサンブル部門およびフォルテピアノ部門で第1位と聴衆賞を受賞。50点以上リリースのCDの多くが各新聞紙上や「レコード芸術」誌等で推薦盤や特選盤に選出されている。著書には、カラー図解「ピアノの歴史」(河出書房新社)があり、楽譜の校訂も手がける。文化庁芸術祭レコード部門【大賞】、ミュージック・ベンクラブ音楽賞、ENEOS音楽賞、下総統一音楽賞を受賞。シリーズ「小倉貴久子の《モーツァルトのクラヴィアのある部屋》」全40回を完結。現在は、小倉貴久子《フォルテピアノの世界》シリーズ、また北とびあて【小倉貴久子と巡るクラシックの旅】を展開中。フォルテピアノ・アカデミー SACLA 主宰。東京藝術大学・東京音楽大学非常勤講師。